



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社

コード番号 4028 URL <https://www.iskweb.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 健一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 川添 泰伸 (TEL) 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	52,006	△0.4	2,699	△41.1	1,824	△63.4	469	△88.1
2019年3月期第2四半期	52,232	△1.3	4,580	18.7	4,981	46.1	3,935	56.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △51百万円 (— %) 2019年3月期第2四半期 3,479百万円 (24.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.73	—
2019年3月期第2四半期	98.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	166,865	74,800	44.8
2019年3月期	168,689	75,335	44.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 74,800百万円 2019年3月期 75,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	102,000	△4.2	5,500	△51.6	4,600	△58.7	2,300	△73.5
								57.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	40,383,943株	2019年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	421,189株	2019年3月期	418,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	39,964,438株	2019年3月期2Q	39,967,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日）における世界経済は、欧米では、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱を巡る混乱など政治・政策面での不安定さを抱えながらも個人消費を中心に景気は底堅く推移しました。アジアでは、中国経済の減速が継続する中、全体としては景気の減速感が強まりました。日本経済は、雇用や所得環境は堅調に推移したものの、輸出や生産に弱さが見られるなど、総じて景気は横ばい状態で推移しました。

当社グループの主力事業を取り巻く環境は、酸化チタンでは、国内需要は堅調に推移したものの、中国経済の減速の影響などを受け、海外需要は減少しました。農薬では、農業大国ブラジルの需要が回復基調で推移したものの、世界各地で異常気象が頻発し、今後の販売への影響が懸念されます。

このような状況の下、当社グループは創立100周年の2020年に向けた第7次中期経営計画の2年目を迎え、既存事業の収益基盤をしっかりと固めつつ、成長に向けた攻めの取り組みを推し進めております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高520億円（前年同期比2億円減）、営業利益26億円（前年同期比18億円減）となりました。営業外では、前年同期の為替差益が差損に転じるなどで経常利益は18億円（前年同期比31億円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億円（前年同期比34億円減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

（無機化学事業）

酸化チタンは、国内で堅調な出荷が続きましたが、アジア向けを中心に輸出が振るわず、売上高は203億円（前年同期比14億円減）となりました。

機能材料は、電子部品向け販売が関連業界の需要落ち込みの影響を受け、低調であったことなどから売上高は55億円（前年同期比4億円減）となりました。

損益面では、チタン鉱石価格の続騰による製造コストアップなどで減益となりました。

この結果、当事業の売上高は259億円（前年同期比18億円減）、営業利益は26億円（前年同期比19億円減）となりました。

（有機化学事業）

農薬の国内販売は、この夏の異常気象による農業生産への影響などを受け、売上は前年同期を下回りました。

海外販売は、欧州で作物の適用拡大を受け殺虫剤が大きく伸長し、アジア、米州でも殺菌剤が好調であった他、新規剤の主力市場における本格販売が始まったことなどから前年同期を上回る増収となりました。

農薬以外では、受託製造する医薬原末などの売上が前年同期をやや下回りました。

この結果、当事業の売上高は244億円（前年同期比17億円増）、営業利益は10億円（前年同期比1億円増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業は、売上高は16億円（前年同期並み）、営業利益は4千万円（前年同期並み）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が14億円となり、減価償却費及びその他の償却費25億円、仕入債務の増加25億円、売掛債権の減少25億円等による収入に対して、たな卸資産の増加31億円等による支出があり、61億円の収入（前年同期比38億円の収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により22億円の支出（前年同期比9億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払4億円や借入金純減等により38億円の支出（前年同期比10億円の支出減）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と同じ239億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し等を踏まえ、2019年5月10日に公表しました2020年3月期の通期業績予想（連結・個別）を修正しました。

詳細は、2019年11月8日に別途公表しました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,983	23,935
受取手形及び売掛金	33,897	31,042
商品及び製品	25,216	29,705
仕掛品	5,976	6,588
原材料及び貯蔵品	15,590	13,326
その他	2,883	2,587
貸倒引当金	△468	△542
流動資産合計	107,080	106,643
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	17,706	18,223
その他（純額）	25,460	24,758
有形固定資産合計	43,167	42,982
無形固定資産	370	383
投資その他の資産		
投資有価証券	7,018	6,667
繰延税金資産	9,604	9,044
退職給付に係る資産	11	10
その他	1,547	1,216
貸倒引当金	△110	△84
投資その他の資産合計	18,071	16,855
固定資産合計	61,609	60,221
資産合計	168,689	166,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,392	17,509
短期借入金	18,102	17,225
1年内償還予定の社債	390	390
未払法人税等	731	297
引当金	853	854
その他	9,241	9,550
流動負債合計	44,712	45,826
固定負債		
社債	1,620	1,425
長期借入金	25,697	23,744
環境安全整備引当金	2,877	2,291
その他の引当金	150	255
退職給付に係る負債	12,881	12,952
持分法適用に伴う負債	662	656
その他	4,752	4,912
固定負債合計	48,642	46,238
負債合計	93,354	92,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,627	10,627
利益剰余金	23,419	23,408
自己株式	△722	△725
株主資本合計	76,744	76,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	274
為替換算調整勘定	△1,443	△1,797
退職給付に係る調整累計額	△442	△406
その他の包括利益累計額合計	△1,408	△1,929
純資産合計	75,335	74,800
負債純資産合計	168,689	166,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	52,232	52,006
売上原価	35,956	37,853
売上総利益	16,276	14,153
販売費及び一般管理費	11,696	11,454
営業利益	4,580	2,699
営業外収益		
受取利息	27	28
受取配当金	82	258
為替差益	715	—
原材料売却益	109	89
その他	82	45
営業外収益合計	1,016	420
営業外費用		
支払利息	385	313
持分法による投資損失	15	70
為替差損	—	656
その他	214	254
営業外費用合計	615	1,295
経常利益	4,981	1,824
特別利益		
固定資産売却益	178	—
保険差益	34	62
特別利益合計	213	62
特別損失		
固定資産処分損	322	404
災害による損失	358	—
その他	—	55
特別損失合計	681	459
税金等調整前四半期純利益	4,513	1,427
法人税、住民税及び事業税	606	238
法人税等調整額	△28	719
法人税等合計	577	958
四半期純利益	3,935	469
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,935	469

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,935	469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△203
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△468	△392
退職給付に係る調整額	36	35
持分法適用会社に対する持分相当額	15	38
その他の包括利益合計	△455	△520
四半期包括利益	3,479	△51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,479	△51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,513	1,427
減価償却費及びその他の償却費	2,376	2,513
災害損失	358	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	193	48
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	94	125
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
環境安全整備引当金の増減額 (△は減少)	△267	△635
その他の引当金の増減額 (△は減少)	88	154
受取利息及び受取配当金	△109	△286
支払利息	385	313
為替差損益 (△は益)	△83	△15
持分法による投資損益 (△は益)	15	70
固定資産処分損益 (△は益)	△60	104
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,197	2,583
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,509	△3,167
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	53	451
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,989	2,571
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,055	709
その他	△41	△57
小計	11,853	6,910
利息及び配当金の受取額	106	285
利息の支払額	△374	△332
保険金の受取額	40	76
災害損失の支払額	—	△131
法人税等の支払額	△1,621	△632
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,005	6,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△110
固定資産の取得による支出	△1,618	△2,154
固定資産の売却による収入	224	75
貸付けによる支出	△116	△213
貸付金の回収による収入	187	121
その他	4	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,323	△2,248

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,410	△80
長期借入れによる収入	3,500	2,000
長期借入金の返済による支出	△5,139	△4,750
社債の償還による支出	△195	△195
配当金の支払額	—	△479
リース債務の返済による支出	△242	△256
割賦債務の返済による支出	△105	△113
預り金の受入れによる収入	1,001	—
預り金の返済による支出	△1,342	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,935	△3,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△97
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,701	△48
現金及び現金同等物の期首残高	30,297	23,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,998	23,935

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準 (IFRS) 第16号「リース」の適用)

IFRSを適用している一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS16号を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	27,785	22,719	1,727	52,232	—	52,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	884	884	△884	—
計	27,785	22,719	2,611	53,116	△884	52,232
セグメント利益	4,653	962	48	5,664	△1,084	4,580

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,084百万円には、セグメント間取引消去53百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
23,637	11,396	8,321	8,787	89	52,232

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,908	24,445	1,651	52,006	—	52,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,265	1,265	△1,265	—
計	25,908	24,445	2,917	53,272	△1,265	52,006
セグメント利益	2,682	1,079	40	3,802	△1,103	2,699

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,103百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,161百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
23,222	10,056	8,699	9,947	79	52,006

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。